女王谷の文化を残す丹巴風情保護区(中国政府から UNESCOへ世界文化遺産申請中)の町はこの10数年で大きく変わり、くすんだ街並みから色鮮やかな街並みに変わり、綺麗な現代的な商店が軒を並べるようになりました。その背景には、丹巴の人達の経済水準が上がると共に町に常時住む人(郷村部と外部からの移住者)が増えた事があるようです。そして春節の間も町に滞在する人が随分増えました(10数年前の春節時期には殆どの人が郊外の村々に在る実家へ戻り、町はゴーストタウン状態でした)。

春節前は丹巴の町の通りに色々な物を並べた露店が所狭しと出現して、年越しの品々を買い出しに来る人達で賑わいます。添付写真をご参照下さい。郊外の村々から買い出しに来る人達はギャロンチベット族だけでなく、カムやアムド^{注)}の系統のチベット族も沢山いて、様々な服装や髪形や装飾を通りで見掛けます。また春節を故郷で迎えるために帰省した若い人達(特に綺麗な女性)が増えて、通りは華やぎます。町の通りでは買出しに来た人達が久し振りに顔を合わせて談義する姿が彼方此方で見られます。通りの人出は春節3~4日前がピークです。



春節のお菓子として最もポピュラーな、小麦粉を水で練って油 で揚げたもの。色や形や味は様々です。



丹巴の町の銀座通りと言える「歩行街」 の賑わい。町中の人通りが多い場所に露 店が並びます。



花火売りの子供。春節前は商売が忙しく て子供達も手伝いに駆り出されます。花 火は春節前夜 24 時にビルの屋上や通り から一斉に打上げられ、町は爆発音と硝 煙に包まれます。



小麦粉を水で練って油で揚げたお菓子として最も伝 統的なものの一つ。



伝統的な装飾品の珊瑚玉(殆どはプラスチック製) や帽子や付け髪を売る露店。



生活に欠かせないバターを売る露店。バターは本来 ヤクの乳から作りますが、価格が高騰するに連れて 混ぜ物が増えています。

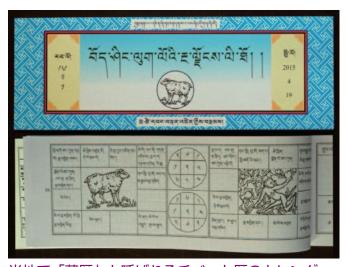
●大川さんのホームページはこちら

女王谷: http://rgyalmorong.info/

四姑娘山:http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm



流行りの音楽 DVD や CD を買うラマさん達。世俗世界との行き来が増え、金回りも良くなった結果です。



当地で「藏歴」と呼ばれるチベット歴のカレンダー。

筆者注:カムやアムド

カムはチベットの東部地方を指し、文化的中心地は 甘孜州(丹巴県が含まれます)の北部に在る徳格県や甘 孜県辺りです。住民はカムパと呼ばれます。丹巴県の 西部や南西部ではカムパの言葉が多く使われています。

アムドはチベットの東北部地方を指し、青海省や周辺の広い地域が含まれます。丹巴県や周辺地域の標高の高い場所(約4000m以上)でもアムドの人達は集落を作りヤクを放牧しています。

お知らせ:

女王谷のHP (http://rgyalmorong.info/) に、当地の風情を紹介するサンプルビデオ (MP4形式8MB前後) 1 分余り×15本を追加しました。日本語HPに入って頂いて、先頭頁の左下に有る「風情のあるビデオ (http://rgyalmorong.info/scholaweb/queenvideo-j.htm)」でご覧になれます。光回線ならほんの数秒で動画が始まるでしょう。